

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3127867号
(U3127867)

(45) 発行日 平成18年12月14日(2006.12.14)

(24) 登録日 平成18年11月22日(2006.11.22)

(51) Int.Cl.

B 4 2 D 1/08 (2006.01)

F I

B 4 2 D 1/08

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2006-8079 (U2006-8079)
(22) 出願日 平成18年10月4日(2006.10.4)(73) 実用新案権者 504094497
株式会社 大和通商
広島県福山市春日町一丁目18番31号
(74) 代理人 100065721
弁理士 倅熊 弘稔
(72) 考案者 鳥越 修
広島県福山市春日町一丁目18番31号
株式会社 大和通商内

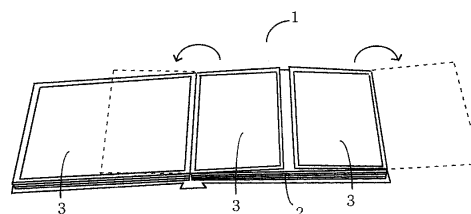
(54) 【考案の名称】 デジタル加工写真アルバム

(57) 【要約】

【課題】 パノラマ写真として使用できるワイドな展開を可能とするデジタル加工写真アルバムを市販に提供する。

【解決手段】 横長の大きさを横方向へ開放させる台紙帳であって、該台紙帳を開放したさいの1頁若しくは隣接する頁の何れか1つの片端を横巾方向へ一定長さ寸法延展した張り出し片に作成し、該台紙の頁内へ或いは隣接する台紙の頁内へ上記張り出し片を折り込ませることにより、1つの頁で片開き或いは観音開き及び又は隣接する頁間で片開き或いは観音開きとなる構成を台紙帳の全体内で適宜混在させるものとなし、且つ各頁及び上記張り出し片にラミネート加工処理を施したデジタル加工写真を貼り付けた。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

縦巾寸法：横巾寸法の比率が $1 : 1.3 \sim 1.5$ で、且つ縦巾寸法が $10 \text{ cm} \sim 30 \text{ cm}$ 、横巾寸法が $15 \text{ cm} \sim 42 \text{ cm}$ の大きさを横長に配置して横方向へ開放させる台紙帳であって、該台紙帳を開放したさいの 1 頁若しくは隣接する頁の何れか 1 つの片端を横巾方向へ一定長さ寸法延展した張り出し片に作成し、該台紙の頁内へ或いは隣接する台紙の頁内へ上記張り出し片を折り込ませることにより、1 つの頁で片開き或いは観音開き及び又は隣接する頁間で片開き或いは観音開きとなる構成を台紙帳の全体内で適宜混在させるものとなし、且つ各頁及び上記張り出し片にラミネート加工処理を施したデジタル加工写真を貼り付けてあることを特徴とするデジタル加工写真アルバム。

10

【請求項 2】

張り出し片の横巾寸法は、1 頁の横巾寸法の $45\% \sim 80\%$ となしたことを特徴とする請求項 1 記載のデジタル加工写真アルバム。

【請求項 3】

アルバムの表紙体の一部に透明の亚克力板を使用し、その亚克力板の裏面には写真が転写されてあることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のデジタル加工写真アルバム。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、デジタル加工写真アルバムに関する。

20

【背景技術】**【0002】**

従来より、結婚式などの記念写真を編集収録した写真アルバムに於いて、写真にイラストや文字などを合成して自由にレイアウトできるデジタル加工写真によるものが考えられており、特許文献 1 には、A4 サイズを縦長方向へ開放させる台紙帳に対し、一定長さ寸法延展した張り出し片を作成し、片開き或いは観音開きとなる構成をなしたデジタル加工写真アルバムが示されている。

しかし、特許文献 1 に示すものは、縦の長さを主として横方向に展開させるものであって、屏風の如く内部を開放した状態にすることができるものであるが、パノラマ写真として使用するにはもの足りないものとなっている。

30

【特許文献 1】実用新案登録第 3103900 号

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

本考案は、かかる問題点を解決するものであって、パノラマ写真として使用できるワイドな展開を可能とするデジタル加工写真アルバムを市販に提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本考案に係るデジタル加工写真アルバムは、縦巾寸法：横巾寸法の比率が $1 : 1.3 \sim 1.5$ で、且つ縦巾寸法が $10 \text{ cm} \sim 30 \text{ cm}$ 、横巾寸法が $15 \text{ cm} \sim 42 \text{ cm}$ の大きさを横長に配置して横方向へ開放させる台紙帳であって、該台紙帳を開放したさいの 1 頁若しくは隣接する頁の何れか 1 つの片端を横巾方向へ一定長さ寸法延展した張り出し片に作成し、該台紙の頁内へ或いは隣接する台紙の頁内へ上記張り出し片を折り込ませることにより、1 つの頁で片開き或いは観音開き及び又は隣接する頁間で片開き或いは観音開きとなる構成を台紙帳の全体内で適宜混在させるものとなし、且つ各頁及び上記張り出し片にラミネート加工処理を施したデジタル加工写真を貼り付けてある。その際、張り出し片の横巾寸法は、1 頁の横巾寸法の $45\% \sim 80\%$ となしたりする。また、アルバムの表紙体の一部に透明の亚克力板を使用し、その亚克力板の裏面には写真が転写されたものとなしたりする。

40

【考案の効果】

50

【 0 0 0 5 】

本考案は以上の通り構成するものであって、横長に配置して横方向へ開放させる台紙帳の1つの頁で片開き或いは観音開き及び又は隣接する頁間で片開き或いは観音開きとなる構成を台紙帳の全体内で適宜混在させるものとしたことは、開いた状態では写真が貼付できる広さが拡大されるので、その広さを利用したレイアウトができ、パノラマ写真として使用できるワイドな展開をすることができるものとなる。アルバムの表紙体の一部に透明のアクリル板を使用し、そのアクリル板の裏面に写真が転写されたものでは、写真でありながら透過し、表からも裏からも見ることができるアルバム表紙となり、今までにない興趣に富んだものとなるとともに、アクリル板の裏面に写真が転写されているため、アクリル板の表側から傷が入っても写真は傷がつかないものとなるのである。

10

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 6 】

以下、図面に示す実施の形態について説明する。

図1は本考案に係るデジタル加工写真アルバムの斜視図である。本考案に係るデジタル加工写真アルバム1は、1つの頁或いは隣接する頁間に観音開きとなる構成を台紙帳2の全体に適宜混在させ、各頁にラミネート加工を施したデジタル加工写真3を貼り付けたものである。

【 0 0 0 7 】

図2はデジタル加工写真アルバムの頁を開いた状態の説明図で、図3は図2の観音開きの頁を開いた状態の説明図で、図4はデジタル加工写真アルバムの他の頁を開いた状態の説明図で、図5は図4の観音開きの頁を開いた状態の説明図である。

20

【 0 0 0 8 】

上記、デジタル加工写真アルバム1の台紙帳2の作成について説明する。台紙帳2は縦巾寸法：横巾寸法の比率が1：1.3～1.5となるサイズを横長に配置して横方向へ開放させるものであって、1頁の大きさは縦巾寸法hが10cm～30cm程度で、横巾寸法w1が15cm～42cm程度である。図3に示す如く、1つの頁4の外側の片端に対し、横巾寸法w2が横巾寸法w1の45%～50%程度となる長さ寸法を延展した張り出し片5を設ける。一方、上記1つの頁4に隣接する頁を横巾寸法w3が横巾寸法w1の45%～50%程度の大きさになるように切断することにより、1頁の1つの片端を一定長さ寸法を延展した張り出し片6を作成する。このようにすることにより、台紙帳2の1つの頁を挟んで観音開きとなる頁を設けることができる。

30

【 0 0 0 9 】

前記例では1つの頁を挟んで観音開きとなる頁を設けた例を示したが、次に隣接する頁を挟んで観音開きとなる頁を設けた例を示す。図5に示す如く、1つの頁7の外側の片端に対し、横巾寸法w4が横巾寸法w1の70%～80%程度となる長さ寸法を延展した張り出し片8を設ける。一方、上記1つの頁7に隣接する頁9の外側の片端に対し、上記同様張り出し片10を設ける。このようにすることにより、台紙帳2の隣接する頁を挟んで観音開きとなる頁を設けることができ、縦巾寸法が1に対し、開いた状態の横巾寸法が4.42～5.4となり、その広さを利用したレイアウトができ、パノラマ写真として使用できるワイドな展開をすることができるものとなる。

40

【 0 0 1 0 】

上記例では1頁若しくは隣接する頁間で観音開きとなる構成の例を示したが、1頁の左右の片端のどちらかに張り出し片を設けて片開きとなる構成にすることもできる。

【 0 0 1 1 】

次にデジタル加工写真について説明する。まず、コンピュータ等で写真にイラスト等を合成したものをプリントアウトしたデジタル加工写真を複数枚作成する。そして、該デジタル加工写真をラミネートする。尚、デジタル加工写真のサイズは台紙帳の各頁の大きさより縦巾寸法及び横巾寸法ともに0mm～3mm程度小さいものとなっている。

【 0 0 1 2 】

而して、上記ラミネート加工処理が施されたデジタル加工写真14を前記台紙帳2に糊

50

で貼り付ける。これにより図 1 に示す如くデジタル加工写真アルバムが完成する。

【 0 0 1 3 】

図 6 ~ 図 1 1 は、本考案の他の例を示す図で、アルバムの表紙体の一部に透明の亚克力板を使用し、その亚克力板の裏面に写真を転写したものである。まず、コンピュータ等で表紙に使用する写真にイラストや文字等を合成して編集したデジタル加工写真を、転写シート 1 1 に印刷する。なお該転写シートは水により写真が転写されるものである。次に透明な亚克力板 1 2 の裏面に対し印刷した転写シート 1 1 を裏返して載せ（図 6 ）、水で濡らして 5 分後に転写シート 1 1 を剥がす（図 7 ）。これにより、透き通った写真入り亚克力板 1 2 が作成され、これを表紙に使用するのである。このとき、転写された写真は亚克力板の裏側に移るため、亚克力板の表側から傷が入っても写真は傷がつかないものとなるのである。 10

【 0 0 1 4 】

本考案では、図 8 及び図 9 に示す如く表紙体 1 6 を作成する。即ち、亚克力板 1 2 、背表紙用の台紙 1 3 、裏表紙用の台紙 1 4 と表紙用シート 1 5 を用意し、表紙用シート 1 5 の裏面にのり付けをして、その上に亚克力板 1 2 の背表紙側の端部から巾寸法 s が 2 cm ~ 4 cm 程度の範囲と、背表紙用の台紙 1 3 、裏表紙用の台紙 1 4 を載せて、表紙用シート 1 5 の周囲を折り込み表紙体 1 6 を作成するのである。そして、図 1 0 に示す如く、表紙体 1 6 に台紙帳 1 7 を貼り合わせると亚克力写真入りの表紙体からなるデジタル加工写真アルバム 1 ' が完成する（図 1 1 ）。 20

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 5 】

【図 1】本考案に係るデジタル加工写真アルバムの斜視図である。

【図 2】デジタル加工写真アルバムの頁を開いた状態の説明図である。

【図 3】図 2 の観音開きの頁を開いた状態の説明図である。

【図 4】デジタル加工写真アルバムの他の頁を開いた状態の説明図である。

【図 5】図 4 の観音開きの頁を開いた状態の説明図である。

【図 6】転写シートを亚克力板に載せる説明図である。

【図 7】転写シートを亚克力板から剥がす説明図である。

【図 8】表紙体作成説明図である。

【図 9】表紙体の裏面図である。 30

【図 1 0】台紙帳と表紙体の分解図である。

【図 1 1】他の例のデジタル加工写真アルバムの斜視図である。

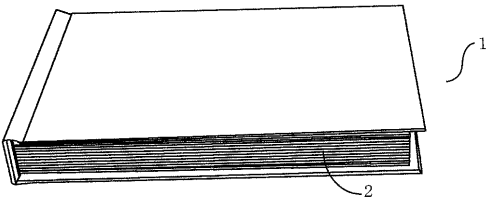
【符号の説明】

【 0 0 1 6 】

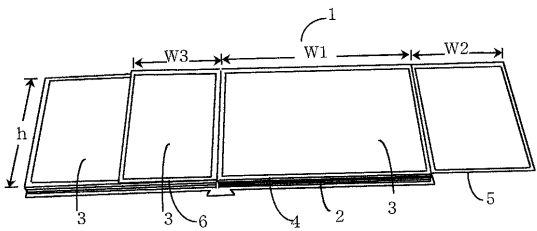
- 1、1' デジタル加工写真アルバム
- 2 台紙帳
- 3 デジタル加工写真
- 4 1つの頁
- 5 張り出し片
- 6 1つの頁
- 7 1つの頁
- 8 張り出し片
- 9 隣接する頁
- 1 0 張り出し片
- 1 1 転写シート
- 1 2 アクリル板
- 1 3 背表紙用台紙
- 1 4 裏表紙用台紙
- 1 5 表紙シート
- 1 6 表紙体

1 7 台紙帳

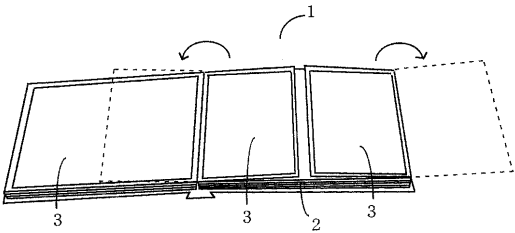
【図 1】



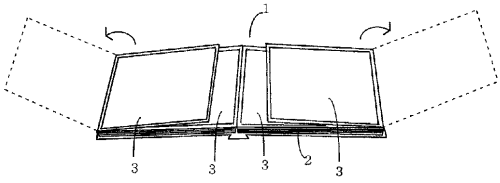
【図 3】



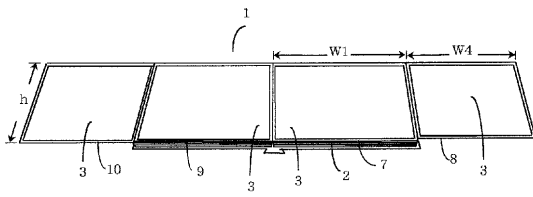
【図 2】



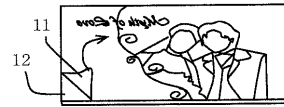
【図 4】



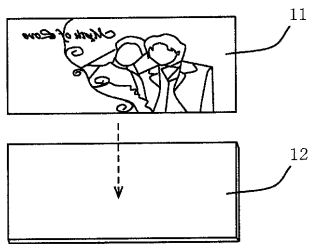
【図 5】



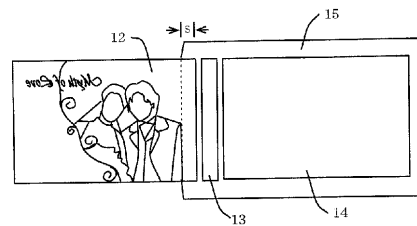
【図 7】



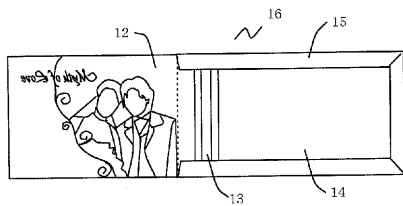
【図 6】



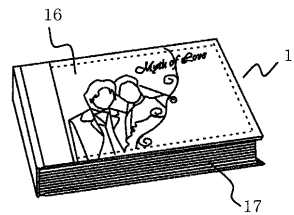
【図 8】



【図 9】



【図 11】



【図 10】

